

14 環境・リサイクル・清掃

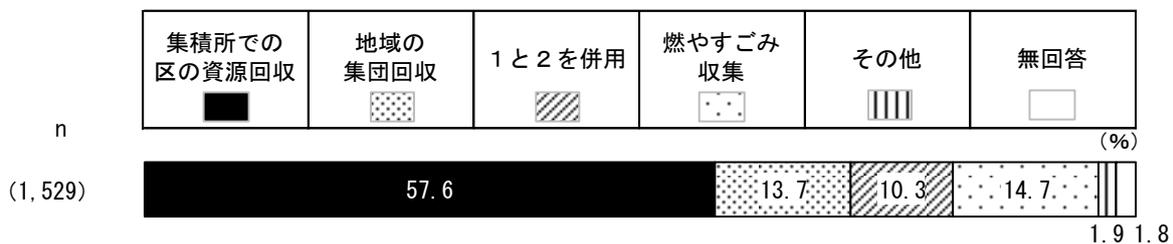
-
- 14-1 資源の出し方
 - 14-2 区が実施しているリユース、リサイクルの取り組みで知っているもの
 - 14-3 食品ロス削減に向けた取り組み
 - 14-4 プラスチックごみ削減に向けた取り組み
 - 14-5 地球温暖化防止に向けた家庭での取り組み
 - 14-6 地球温暖化防止や生物を大切にするための地域活動への参加状況
 - 14-7 「生物多様性」の認知度
-

14-1 資源の出し方

- 【古紙】、【びん・缶】、【ペットボトル】、【食品トレー】では「集積所での区の資源回収」が最も高い
- 【乾電池】では「区施設等の拠点回収」が最も高い
- 【小型家電】では「燃やさないごみ収集」が最も高い
- 【廃食油】では「凝固剤や新聞紙等を利用して燃えるごみ収集」が最も高い

問35 あなたは現在、次の品目の資源をどのように出していますか。品目ごとにあてはまるものを1つ選んでください。

図14-1-1 【古紙】



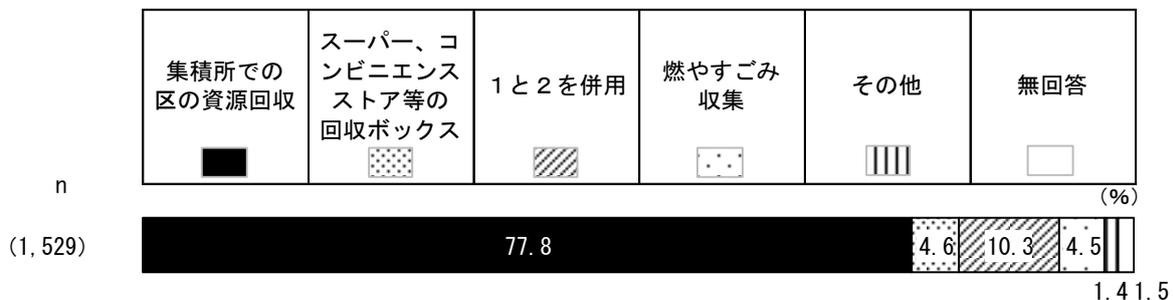
(注)「1と2を併用」＝「集積所での区の資源回収」と「地域の集団回収」を併用

図14-1-2 【びん・缶】



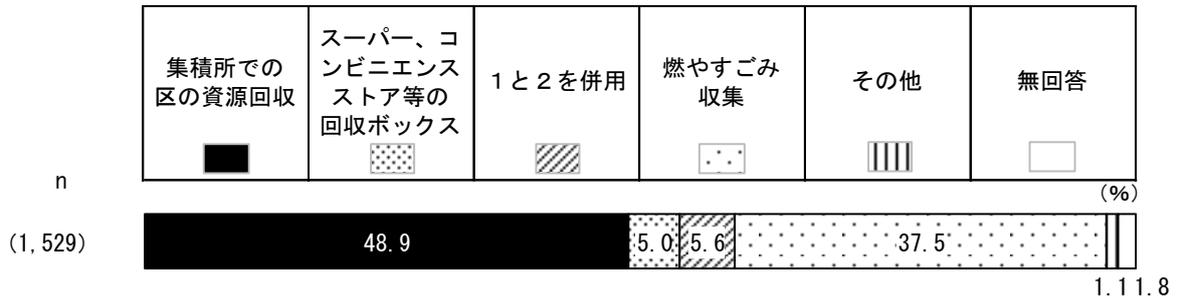
(注)「1と2を併用」＝「集積所での区の資源回収」と「地域の集団回収」を併用

図14-1-3 【ペットボトル】



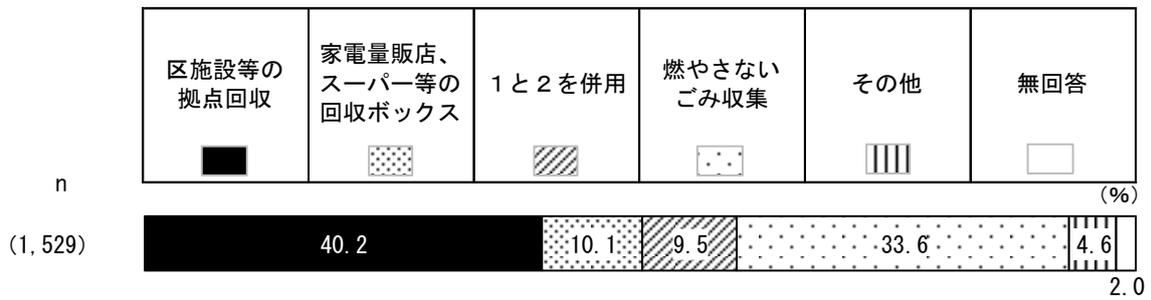
(注)「1と2を併用」＝「集積所での区の資源回収」と「スーパー、コンビニエンスストア等の回収ボックス」を併用

図14-1-4 【食品トレー】



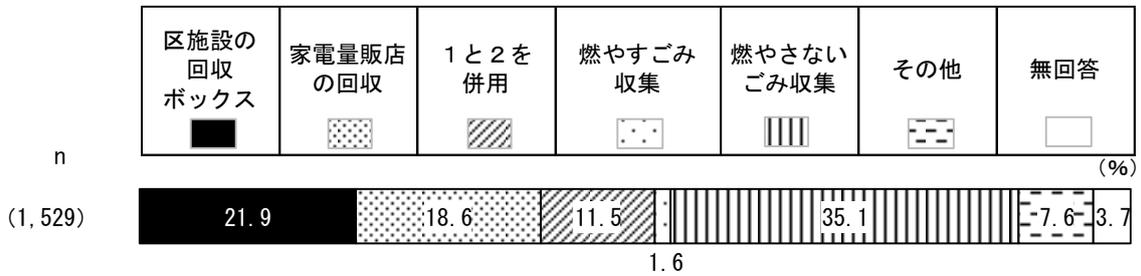
(注) 「1と2を併用」 = 「集積所での区の資源回収」と「スーパー、コンビニエンスストア等の回収ボックス」を併用

図14-1-5 【乾電池】



(注) 「1と2を併用」 = 「区施設等の拠点回収」と「家電量販店、スーパー等の回収ボックス」を併用

図14-1-6 【小型家電】



(注) 「1と2を併用」 = 「区施設の回収ボックス」と「家電量販店の回収」を併用

図14-1-7 【廃食油】



(注) 「1と2を併用」 = 「区施設等の拠点回収」と「凝固剤や新聞紙等を利用して燃えるごみ収集」を併用

【古紙】の出し方を聞いたところ、「集積所での区の資源回収」(57.6%)が6割近くで最も高く、次いで「燃やすごみ収集」(14.7%)、「地域の集団回収」(13.7%)となっている。

(図14-1-1)

【びん・缶】の出し方は、「集積所での区の資源回収」(73.8%)が7割を超えて最も高く、次いで「地域の集団回収」(9.0%)、「1と2を併用」(8.4%)となっている。(図14-1-2)

【ペットボトル】の出し方は、「集積所での区の資源回収」(77.8%)が8割近くで最も高く、次いで「1と2を併用」(10.3%)、「スーパー、コンビニエンスストア等の回収ボックス」(4.6%)となっている。(図14-1-3)

【食品トレイ】の出し方は、「集積所での区の資源回収」(48.9%)が5割近くで最も高く、次いで「燃やすごみ収集」(37.5%)、「1と2を併用」(5.6%)となっている。(図14-1-4)

【乾電池(筒型の使い切り乾電池)】の出し方は、「区施設等の拠点回収」(40.2%)が約4割で最も高く、次いで「燃やさないごみ収集」(33.6%)、「家電量販店、スーパー等の回収ボックス」(10.1%)となっている。(図14-1-5)

【小型家電(1辺が30cm以下のもの。携帯電話・デジタルカメラ・電子辞書など)】の出し方は、「燃やさないごみ収集」(35.1%)が3割台半ばで最も高く、次いで「区施設の回収ボックス」(21.9%)、「家電量販店の回収」(18.6%)となっている。(図14-1-6)

【廃食油】の出し方は、「凝固剤や新聞紙等を利用して燃えるごみ収集」(67.1%)が7割近くで最も高く、次いで「区施設等の拠点回収」(9.5%)、「1と2を併用」(7.2%)となっている。

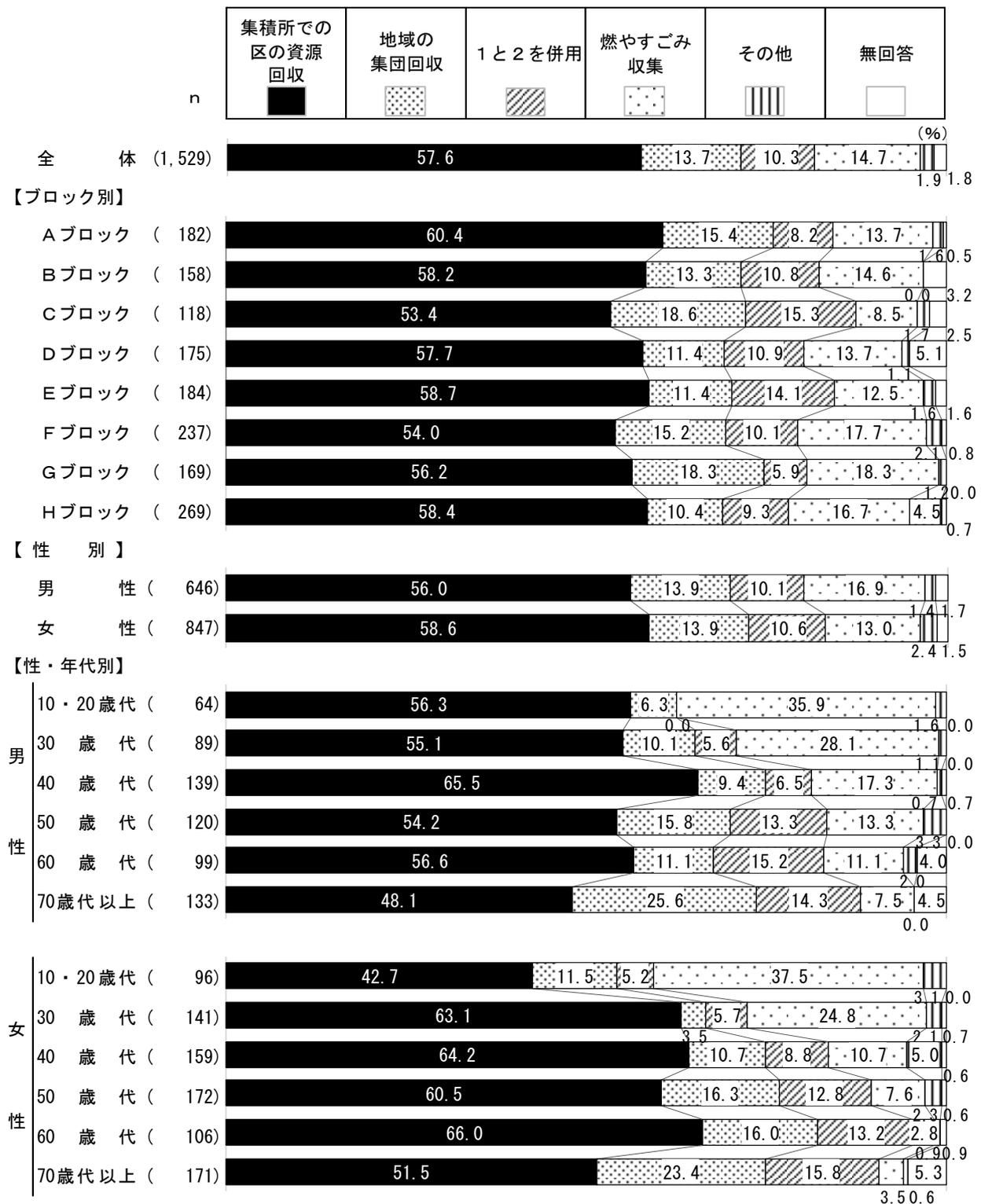
(図14-1-7)

【古紙】では、ブロック別でみると、「1と2を併用」はCブロックで1割台半ばと高くなっている。

性別でみると、男女間で大きな差はみられない。

性・年代別でみると、「地域の集団回収」は男女ともに70歳代以上で2割台と高くなっている。「燃やすごみ収集」は男女ともに10・20歳代、30歳代で2割以上と高くなっている。(図14-1-8)

図14-1-8 ブロック別、性別、性・年代別 資源の出し方【古紙】

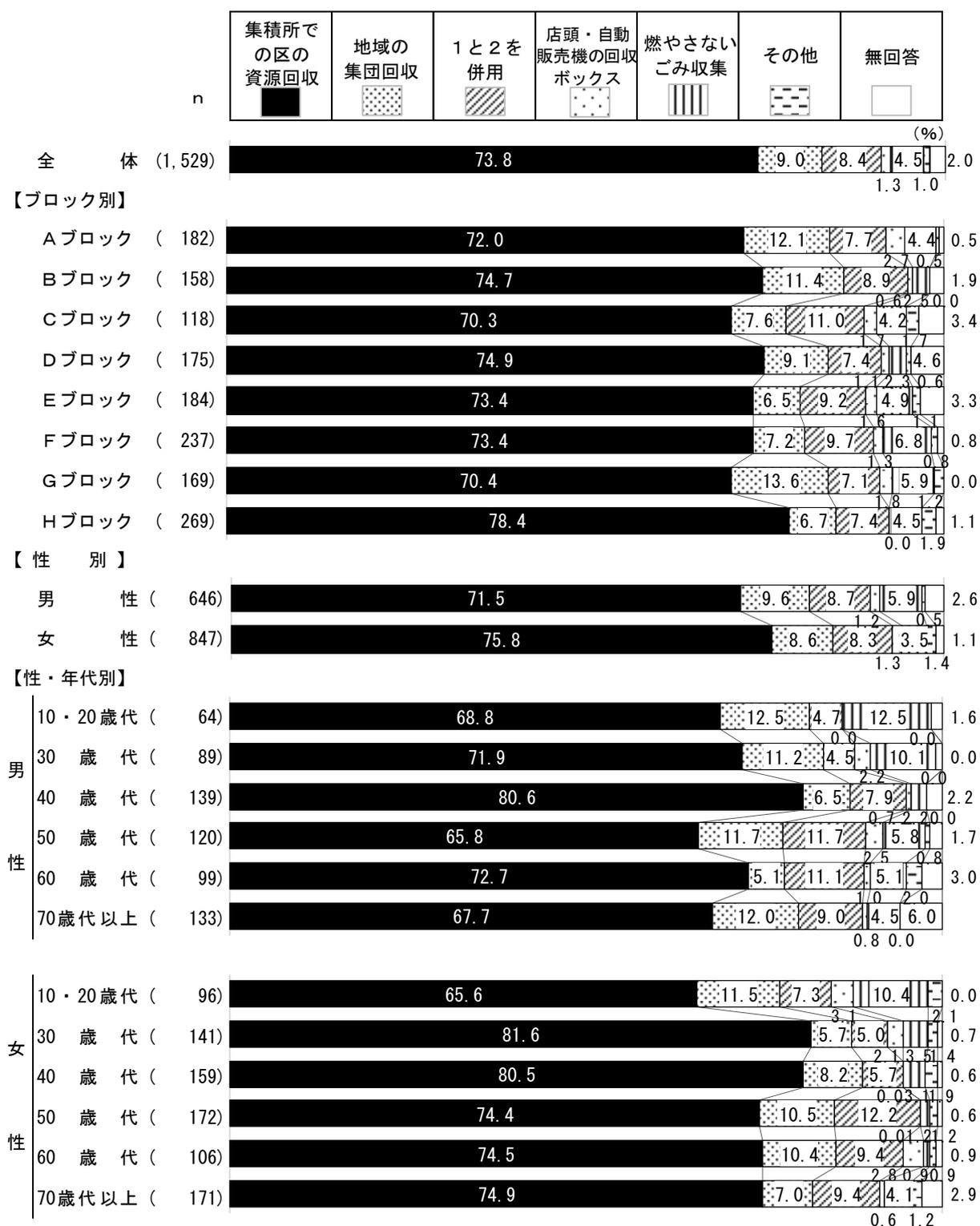


【びん・缶】では、ブロック別で見ると、「集積所での区の資源回収」はHブロックで8割近くと高くなっている。

性別で見ると、「集積所での区の資源回収」は女性が男性より4.3ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、「集積所での区の資源回収」は男性40歳代、女性の30歳代、40歳代で8割台と高くなっている。(図14-1-9)

図14-1-9 ブロック別、性別、性・年代別 資源の出し方【びん・缶】

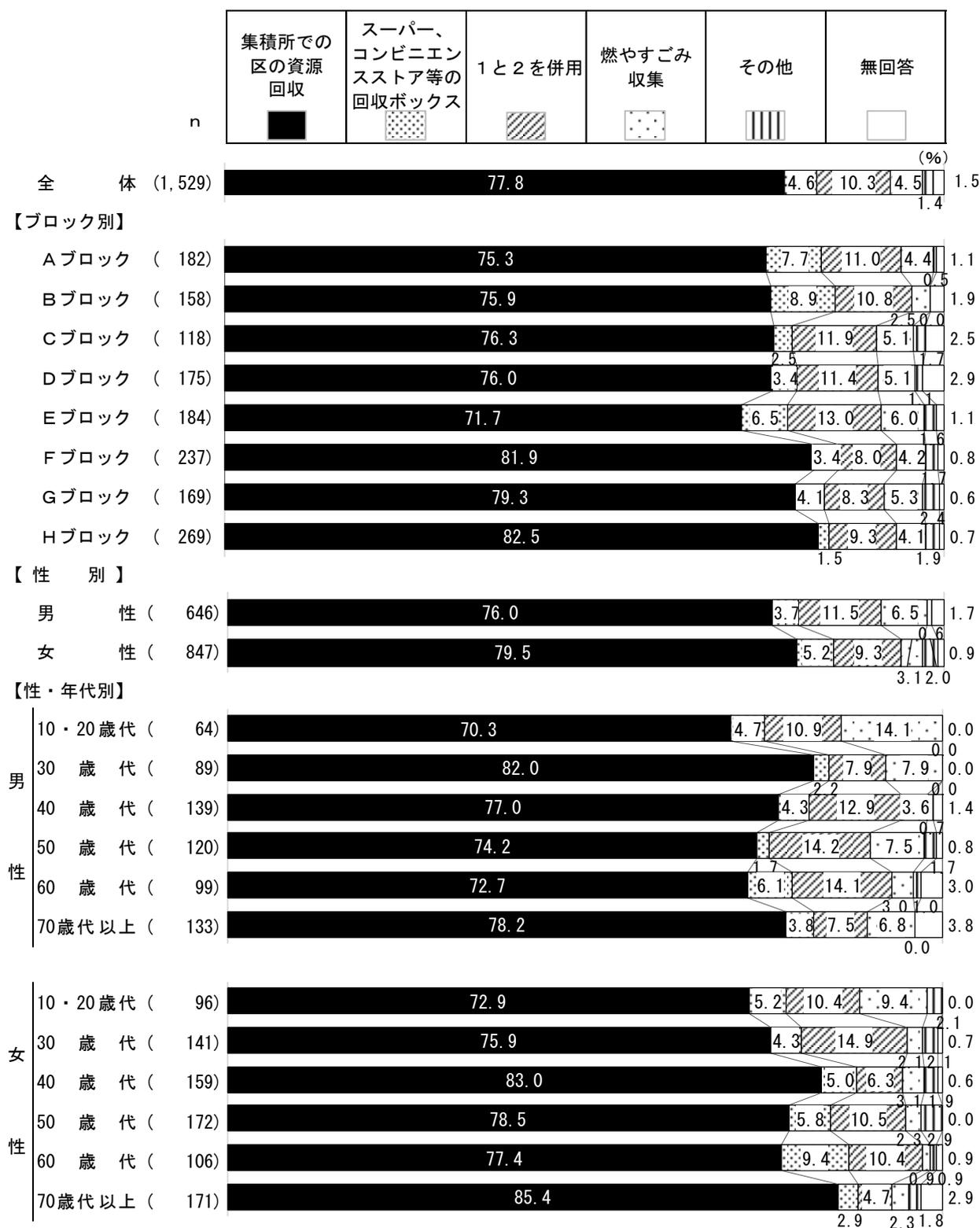


【ペットボトル】では、ブロック別でみると、「集積所での区の資源回収」はF・Hブロックで8割を超えて高くなっている。

性別でみると、男女間で大きな差はみられない。

性・年代別でみると、「集積所での区の資源回収」は女性70歳代以上で8割台半ばと高くなっている。(図14-1-10)

図14-1-10 ブロック別、性別、性・年代別 資源の出し方【ペットボトル】

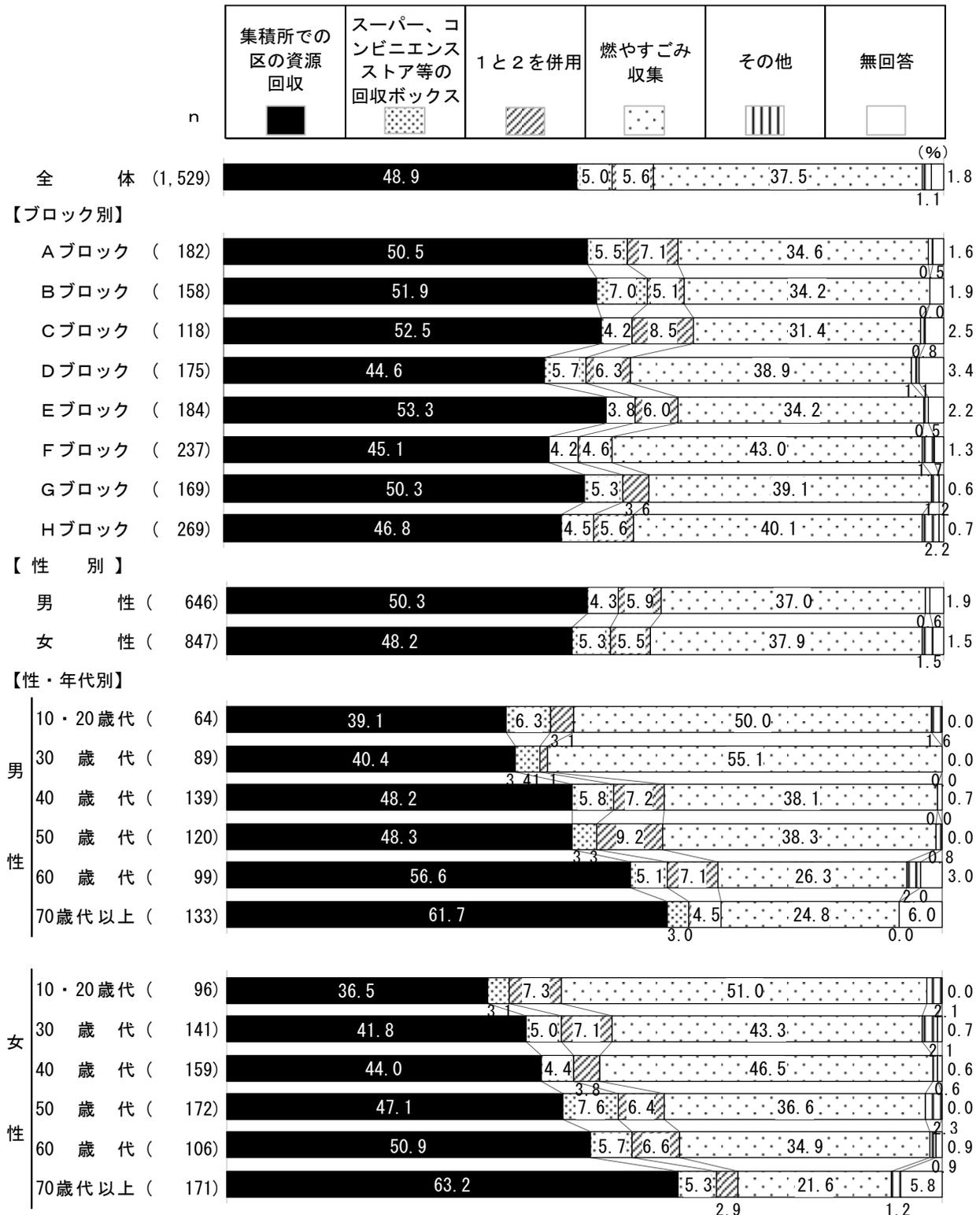


【食品トレー】では、ブロック別でみると、「燃やすごみ収集」はF・Hブロックで4割台と高くなっている。

性別でみると、男女間で大きな差はみられない。

性・年代別でみると、「集積所での区の資源回収」は男女ともに70歳代以上で6割を超えて高くなっている。「燃やすごみ収集」は男性の10・20歳代、30歳代、女性10・20歳代で5割台と高くなっている。(図14-1-11)

図14-1-11 ブロック別、性別、性・年代別 資源の出し方【食品トレー】

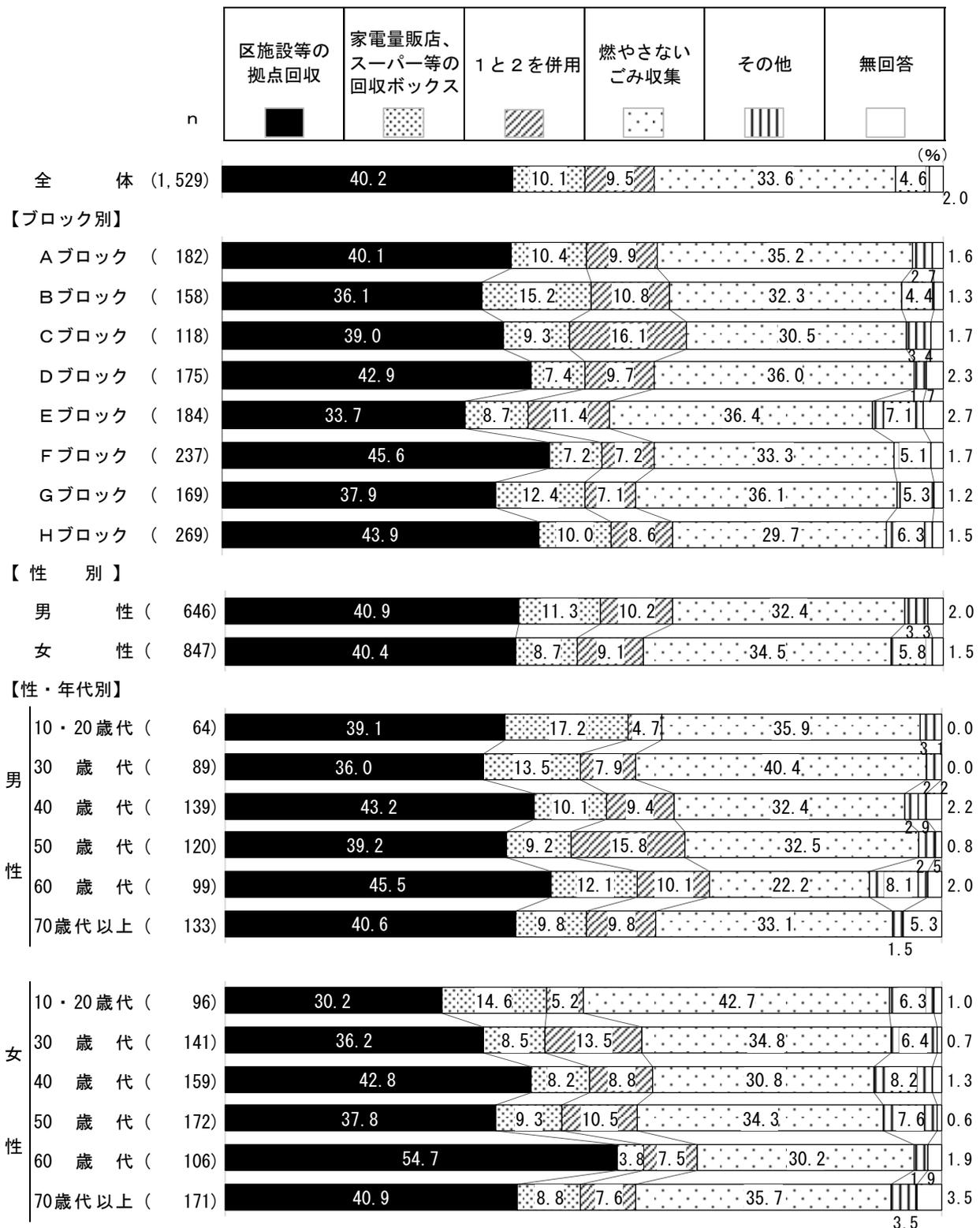


【乾電池】では、ブロック別でみると、「区施設等の拠点回収」はFブロックで4割台半ばと高くなっている。「1と2を併用」はCブロックで1割台半ばと高くなっている。

性別でみると、男女間で大きな差はみられない。

性・年代別でみると、「区施設等の拠点回収」は女性60歳代で5割台半ばと高くなっている。「燃やさないごみ収集」は女性10・20歳代で4割を超えて高くなっている。(図14-1-12)

図14-1-12 ブロック別、性別、性・年代別 資源の出し方【乾電池】

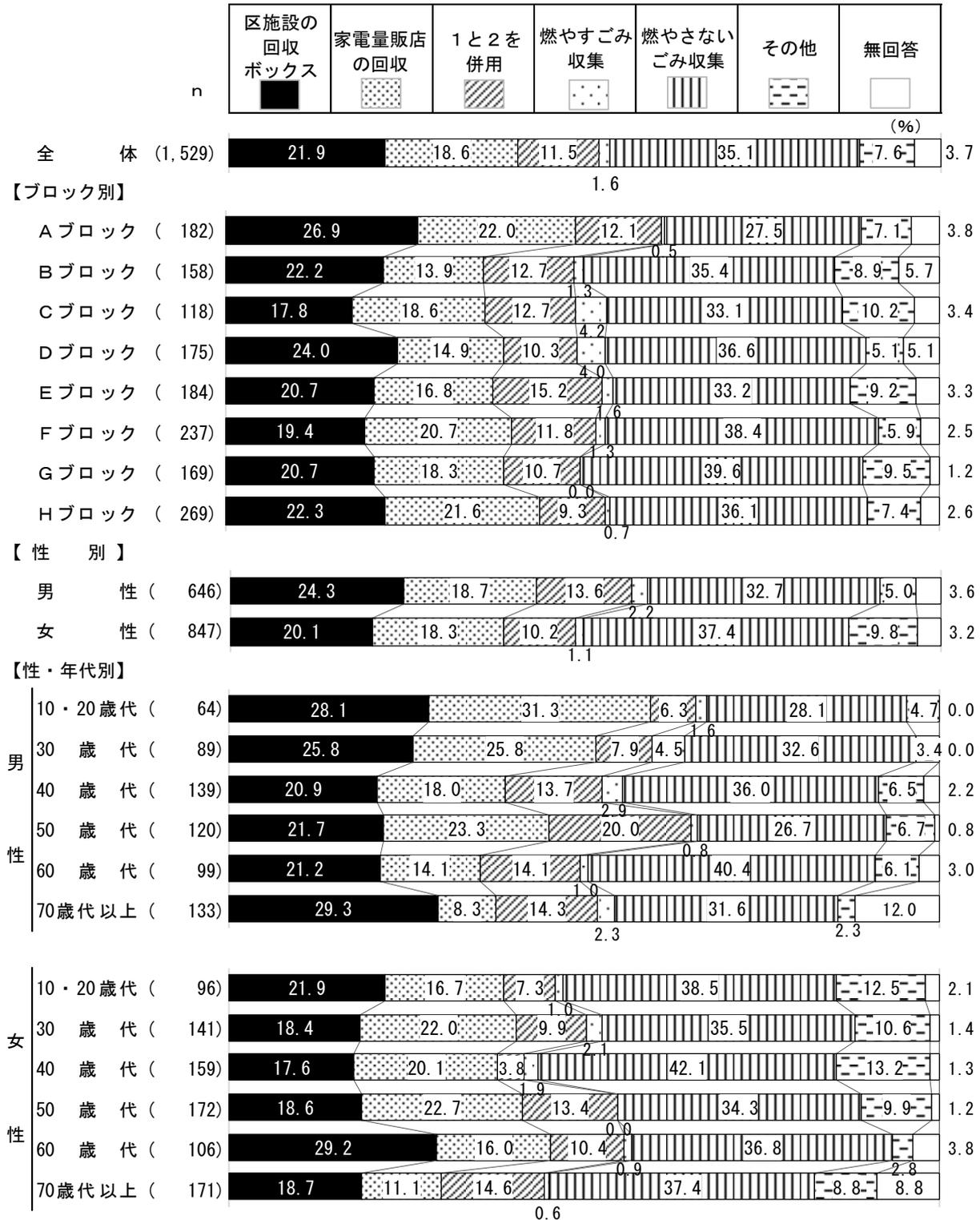


【小型家電】では、ブロック別でみると、「区施設の回収ボックス」はA・Dブロックで2割台半ばと高くなっている。

性別でみると、「燃やさないごみ収集」は女性が男性より4.7ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、「区施設の回収ボックス」は男性70歳代以上、女性60歳代で約3割と高くなっている。「家電量販店の回収」は男性10・20歳代で約3割を超えて高くなっている。「1と2を併用」は男性50歳代で2割と高くなっている。(図14-1-13)

図14-1-13 ブロック別、性別、性・年代別 資源の出し方【小型家電】



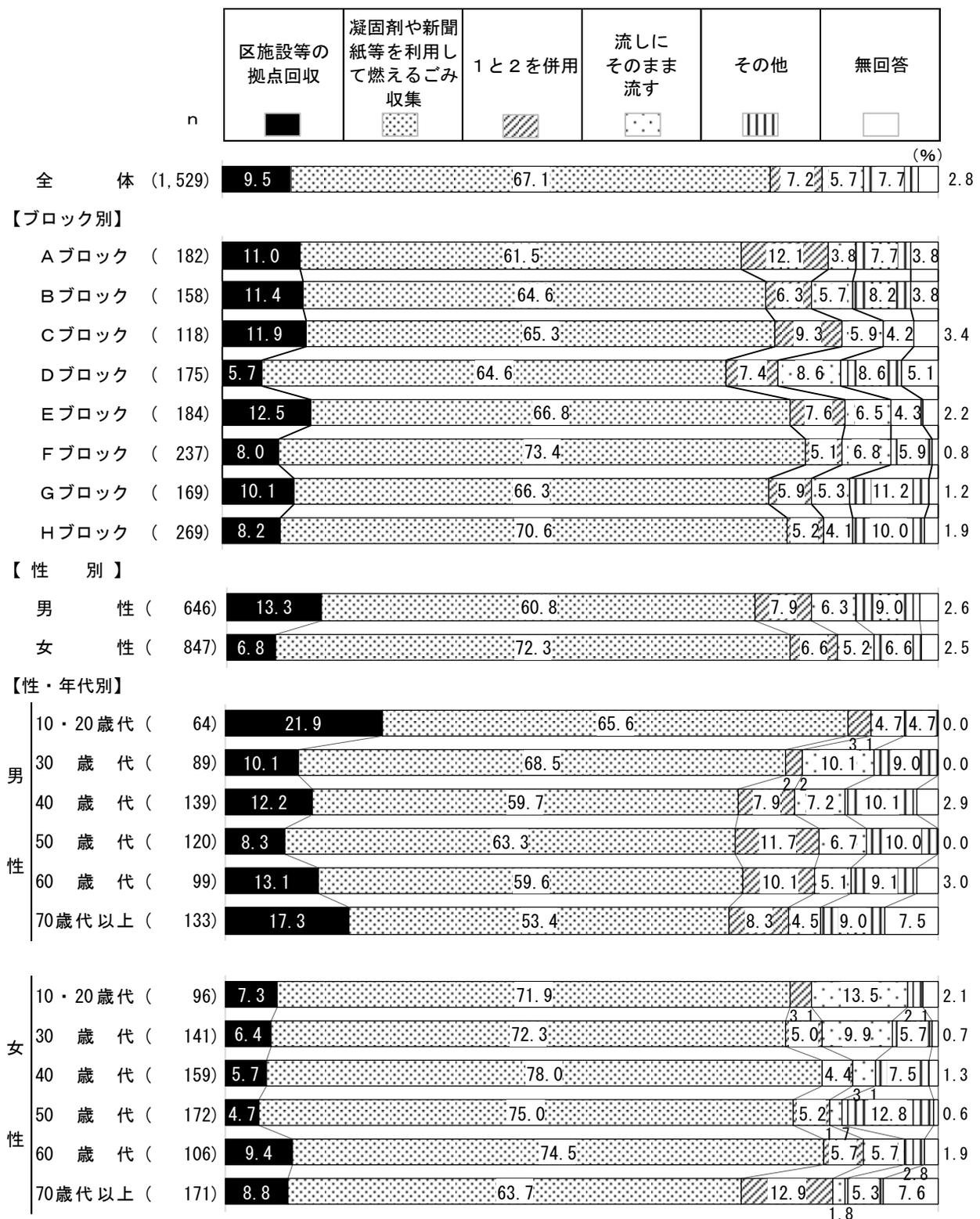
【廃食油】では、ブロック別でみると、「凝固剤や新聞紙等を利用して燃えるごみ収集」はFブロックで7割を超えて高くなっている。

性別でみると、「凝固剤や新聞紙等を利用して燃えるごみ収集」は女性が男性より11.5ポイント高くなっている。一方、「区施設等の拠点回収」は男性が女性より6.5ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、「区施設等の拠点回収」は男性10・20歳代で2割を超えて高くなっている。「凝固剤や新聞紙等を利用して燃えるごみ収集」は女性40歳代で8割近くと高くなっている。

(図14-1-14)

図14-1-14 ブロック別、性別、性・年代別 資源の出し方【廃食油】

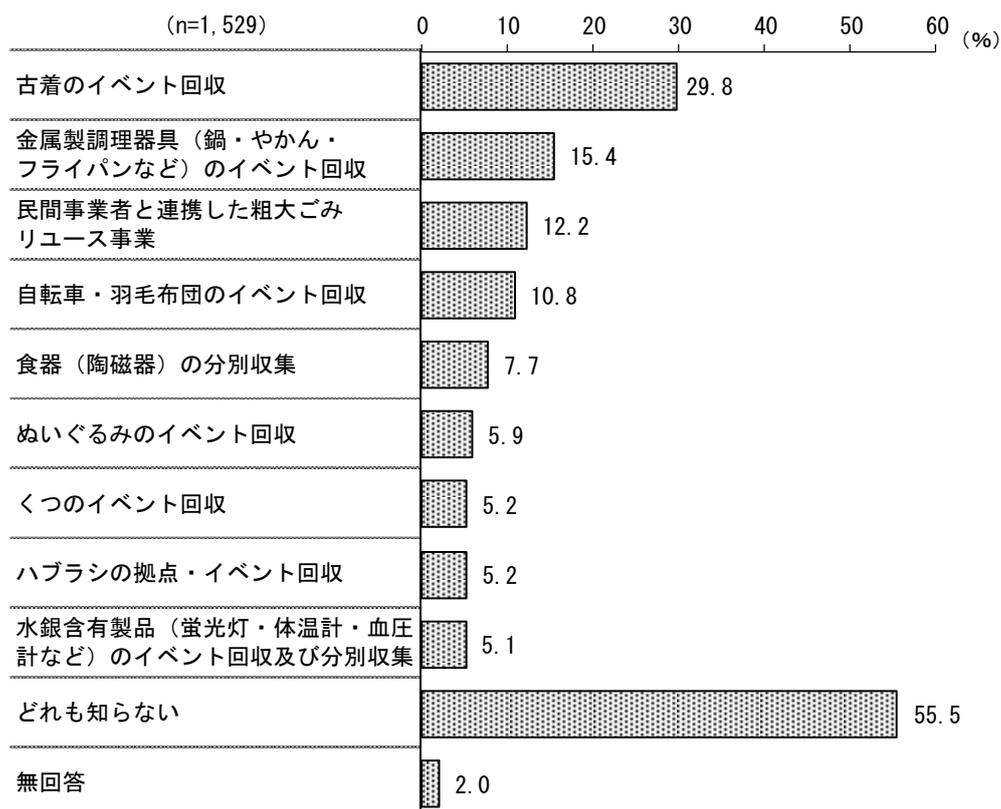


14-2 区が実施しているリユース、リサイクルの取り組みで知っているもの

- 「古着のイベント回収」が約3割

問36 墨田区では、不要になったもののリユース、リサイクルに積極的に取り組んでいます。あなたは、区が実施している以下の取り組みで知っているものはありますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

図14-2-1

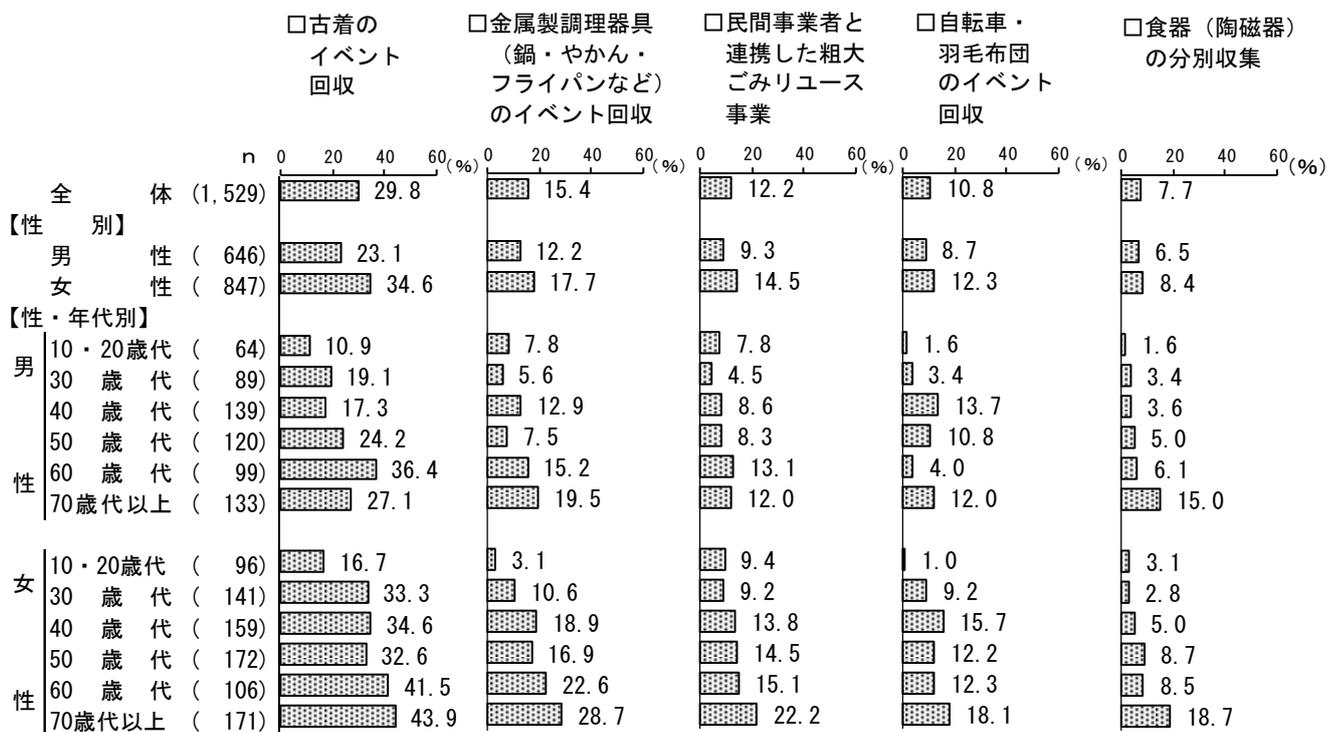


区が実施しているリユース、リサイクルの取り組みで知っているものを聞いたところ、「古着のイベント回収」(29.8%)が約3割で最も高く、次いで「金属製調理器具(鍋・やかん・フライパンなど)のイベント回収」(15.4%)、「民間事業者と連携した粗大ごみリユース事業」(12.2%)となっている。一方、「どれも知らない」(55.5%)は5割台半ばとなっている。(図14-2-1)

性別でみると、「古着のイベント回収」は女性が男性より11.5ポイント高くなっている。

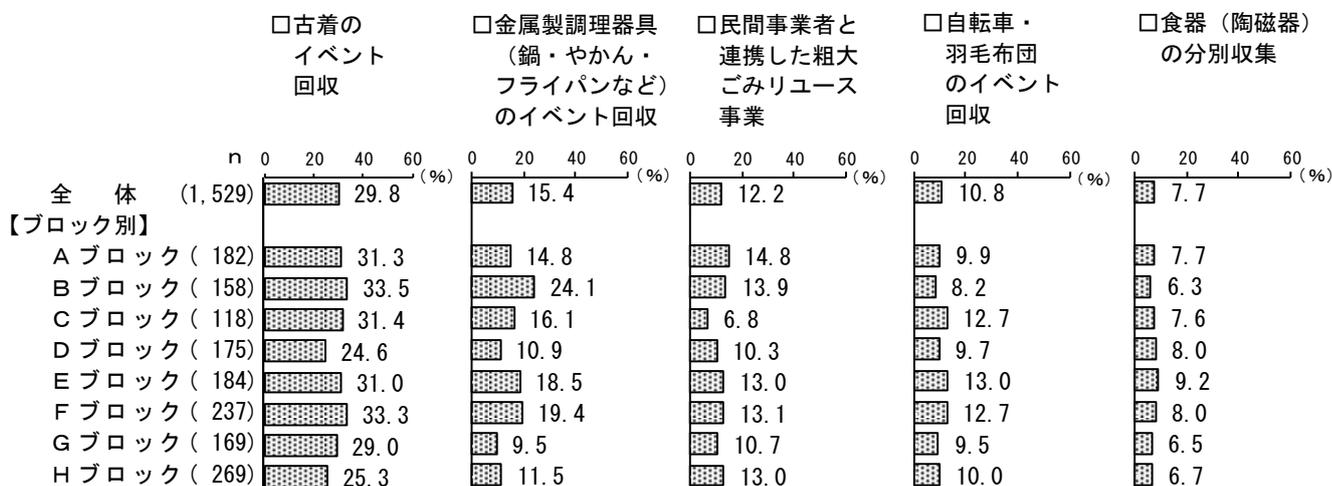
性・年代別でみると、「古着のイベント回収」は女性の60歳代、70歳代以上で4割台と高くなっている。「金属製調理器具（鍋・やかん・フライパンなど）のイベント回収」は女性70歳代以上で3割近くと高くなっている。（図14-2-2）

図14-2-2 性別、性・年代別 区が実施しているリユース、リサイクルの取り組みで知っているもの（上位5項目）



ブロック別でみると、「金属製調理器具（鍋・やかん・フライパンなど）のイベント回収」はBブロックで2割台半ばと高くなっている。（図14-2-3）

図14-2-3 ブロック別 区が実施しているリユース、リサイクルの取り組みで知っているもの（上位5項目）

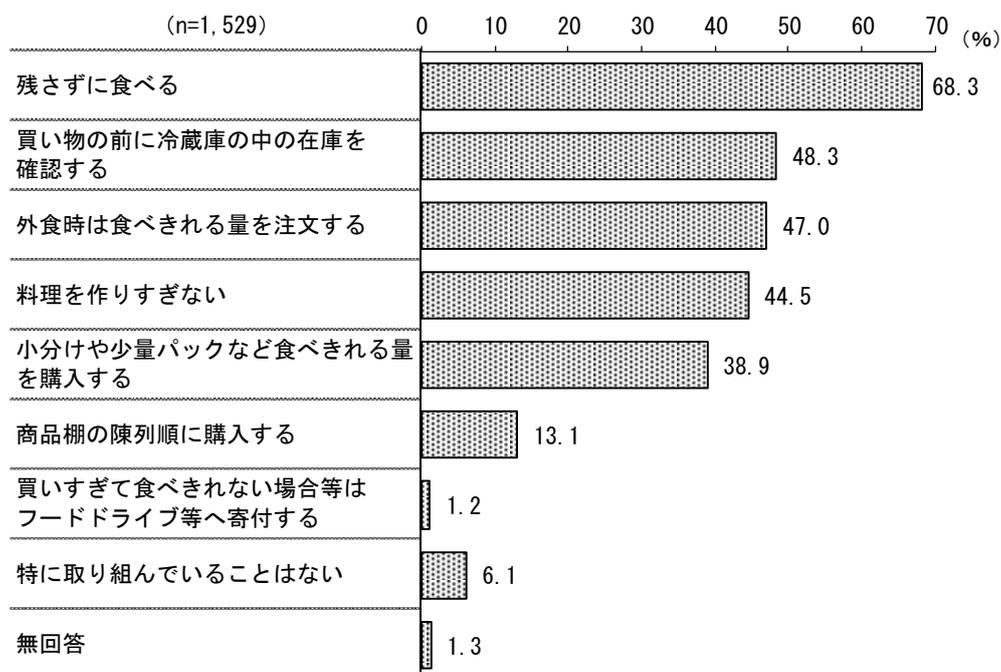


14-3 食品ロス削減に向けた取り組み

- 「残さずに食べる」が7割近く

問37 あなたは、食品ロスを減らすために、どのようなことに取り組んでいますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

図14-3-1



食品ロスを減らすために取り組んでいることについて聞いたところ、「残さずに食べる」(68.3%)が7割近くで最も高く、次いで「買い物の前に冷蔵庫の中の在庫を確認する」(48.3%)、「外食時は食べきれる量を注文する」(47.0%)、「料理を作りすぎない」(44.5%)となっている。

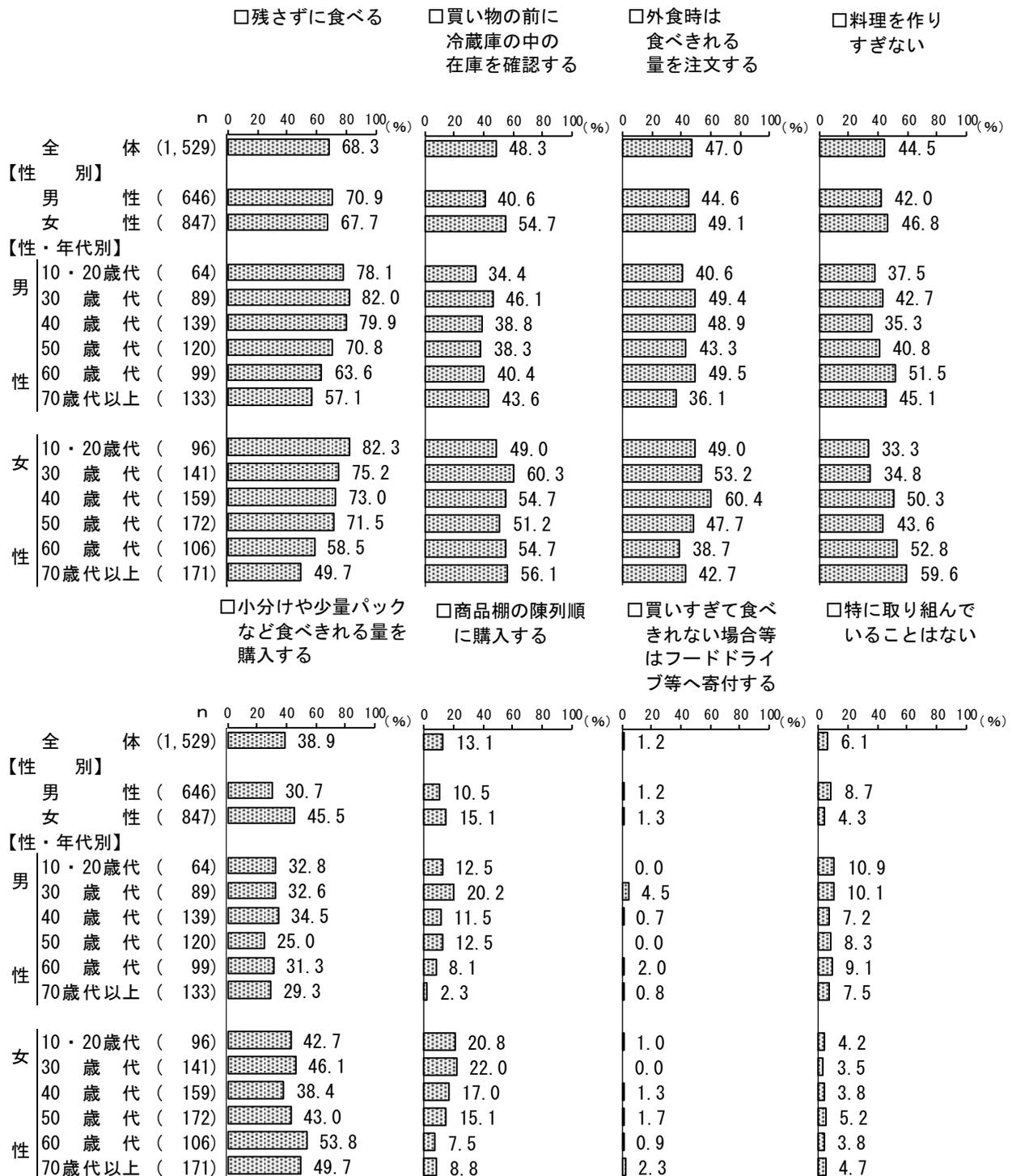
(図14-3-1)

性別でみると、「小分けや少量パックなど食べきれる量を購入する」は女性が男性より14.8ポイント、「買い物の前に冷蔵庫の中の在庫を確認する」は女性が男性より14.1ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、「残さずに食べる」は女性10・20歳代、男性30歳代で8割を超えて高くなっている。「買い物の前に冷蔵庫の中の在庫を確認する」は女性30歳代で約6割と高くなっている。「小分けや少量パックなど食べきれる量を購入する」は女性60歳代で5割を超えて高くなっている。

(図14-3-2)

図14-3-2 性別、性・年代別 食品ロス削減に向けた取り組み

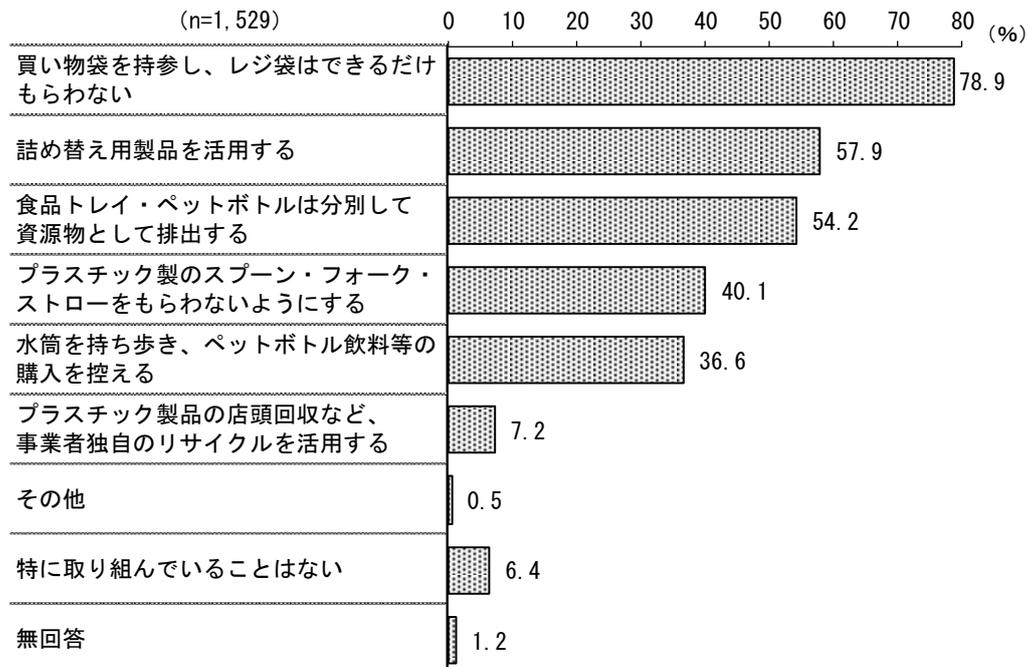


14-4 プラスチックごみ削減に向けた取り組み

- 「買い物袋を持参し、レジ袋はできるだけもらわない」が8割近く

問 38 あなたは、プラスチックごみを減らすために、どのようなことに取り組んでいますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

図14-4-1



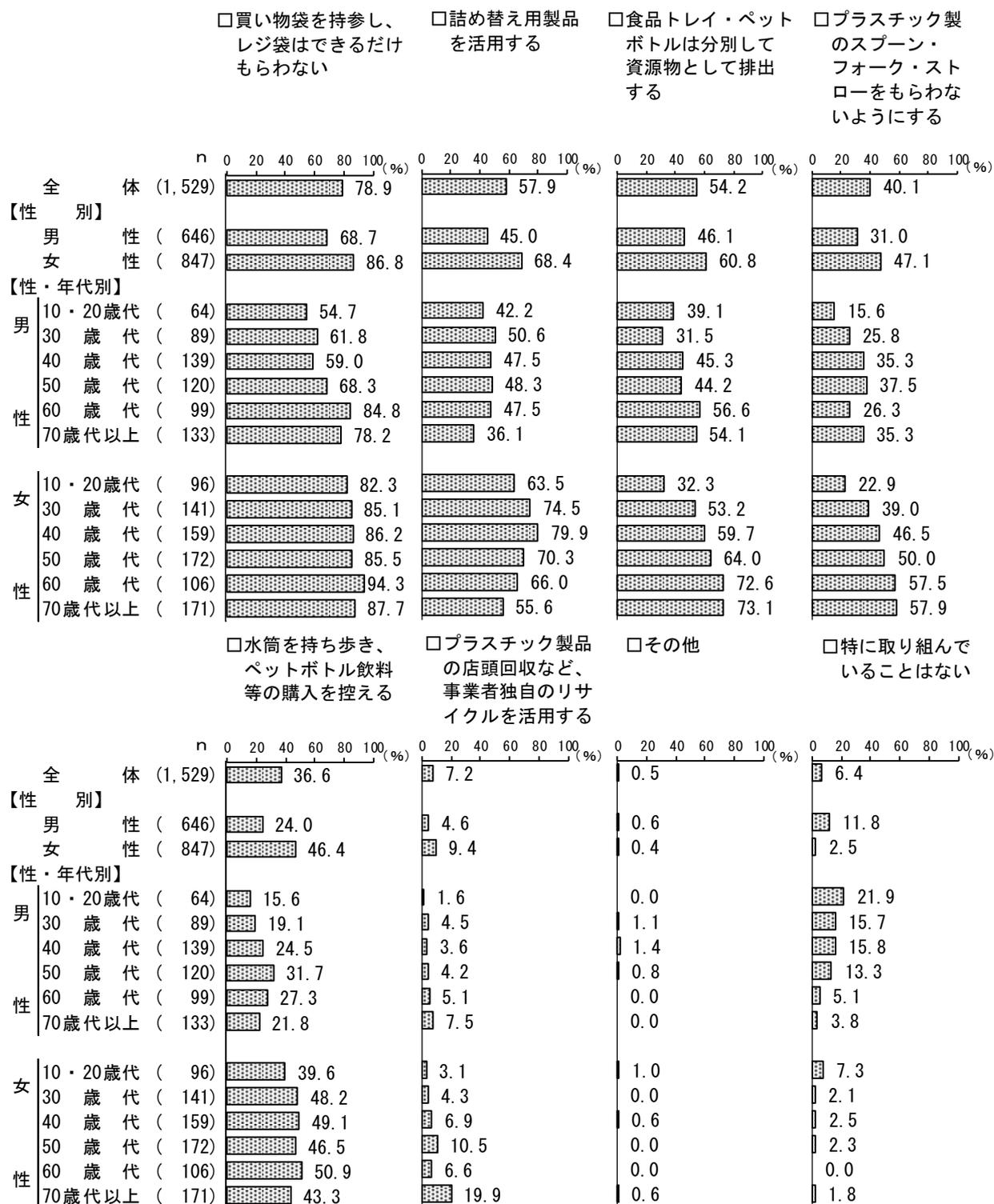
プラスチックごみを減らすための取り組みについて聞いたところ、「買い物袋を持参し、レジ袋はできるだけもらわない」(78.9%)が8割近くで最も高く、次いで「詰め替え用製品を活用する」(57.9%)、「食品トレイ・ペットボトルは分別して資源物として排出する」(54.2%)、「プラスチック製のスプーン・フォーク・ストローをもらわないようにする」(40.1%)となっている。

(図14-4-1)

性別でみると、6項目で女性が男性より高くなっており、特に「詰め替え用製品を活用する」では23.4ポイント、「水筒を持ち歩き、ペットボトル飲料等の購入を控える」では22.4ポイント、それぞれ高くなっている。

性・年代別でみると、「買い物袋を持参し、レジ袋はできるだけもらわない」は女性60歳代で9割台半ばと高くなっている。「詰め替え用製品を活用する」は女性の40歳代で約8割と高くなっている。(図14-4-2)

図14-4-2 性別、性・年代別 プラスチックごみ削減に向けた取り組み



14-5 地球温暖化防止に向けた家庭での取り組み

- 【現在取り組んでいること】では「不要なものは買わず、過剰な包装やレジ袋は断る」が約7割、
【今後新たに取り組みたいと思うこと】では「エアコンフィルターを月2回程度清掃する」が約4割

問39 地球温暖化防止のための取り組みについて、あなたが、(1) 現在取り組んでいることと、(2) 今後新たに取り組みたいと思うことについて、次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

図14-5-1 【現在取り組んでいること】

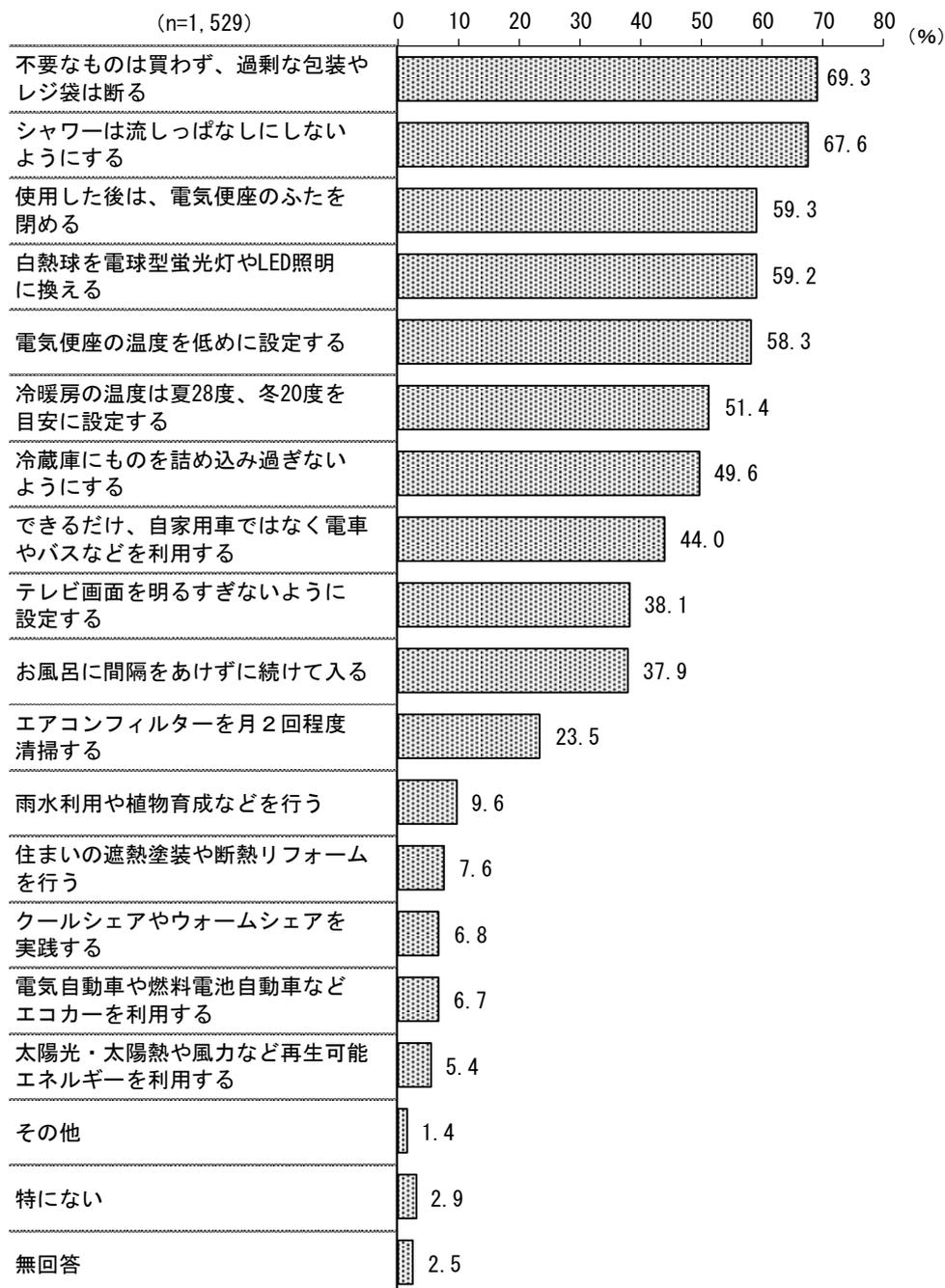
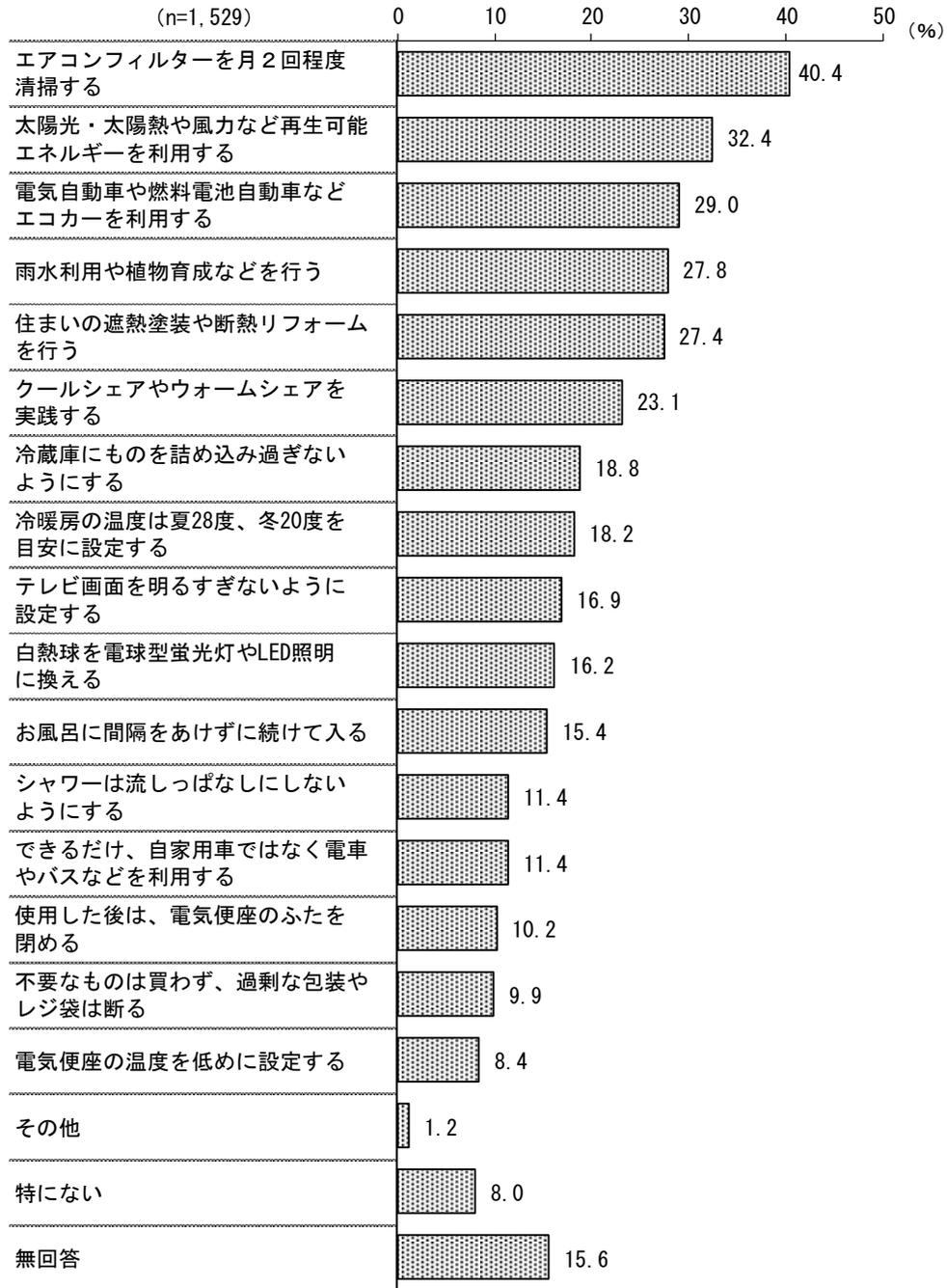


図14-5-2 【今後新たに取り組みたいと思うこと】



地球温暖化防止のための取り組みについて聞いたところ、【現在取り組んでいること】は、「不要なものは買わず、過剰な包装やレジ袋は断る」(69.3%)が約7割で最も高く、次いで「シャワーは流しっぱなしにしないようにする」(67.6%)、「使用した後は、電気便座のふたを閉める」(59.3%)となっている。(図14-5-1)

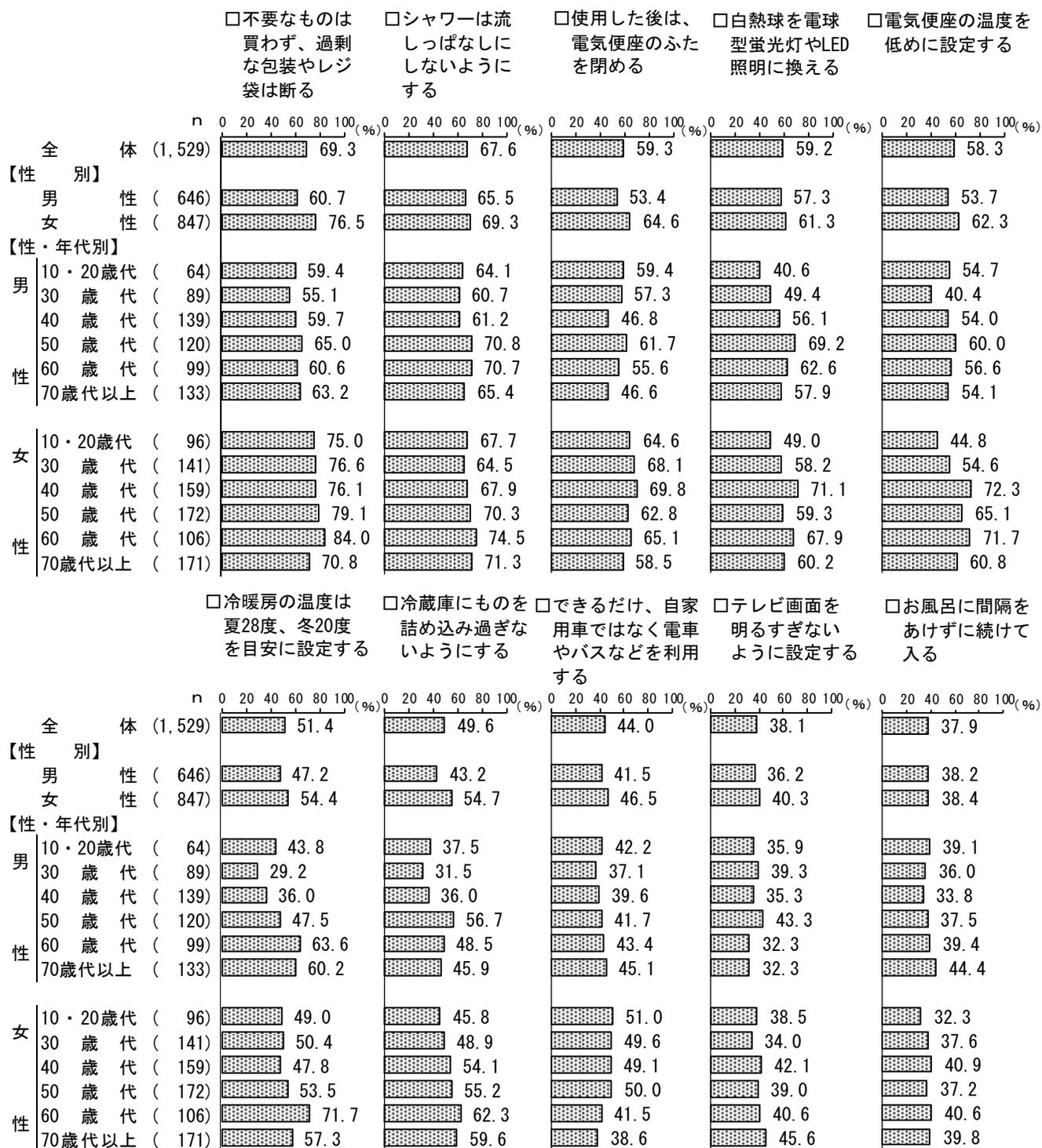
【今後新たに取り組みたいと思うこと】は、「エアコンフィルターを月2回程度清掃する」(40.4%)が約4割で最も高く、次いで「太陽光・太陽熱や風力など再生可能エネルギーを利用する」(32.4%)、「電気自動車や燃料電池自動車などエコカーを利用する」(29.0%)となっている。(図14-5-2)

【現在取り組んでいること】では、性別で見ると、上位10項目で女性が男性より高くなっており、特に「不要なものは買わず、過剰な包装やレジ袋は断る」は15.8ポイント、「冷蔵庫にもものを詰め込み過ぎないようにする」は11.5ポイント、それぞれ高くなっている。

性・年代別で見ると、「不要なものは買わず、過剰な包装やレジ袋は断る」は女性60歳代で8割台半ばと高くなっている。「冷暖房の温度は夏28度、冬20度を目安に設定する」は女性60歳代で7割を超えて高くなっている（図14-5-3）

図14-5-3 性別、性・年代別 地球温暖化防止に向けた家庭での取り組み

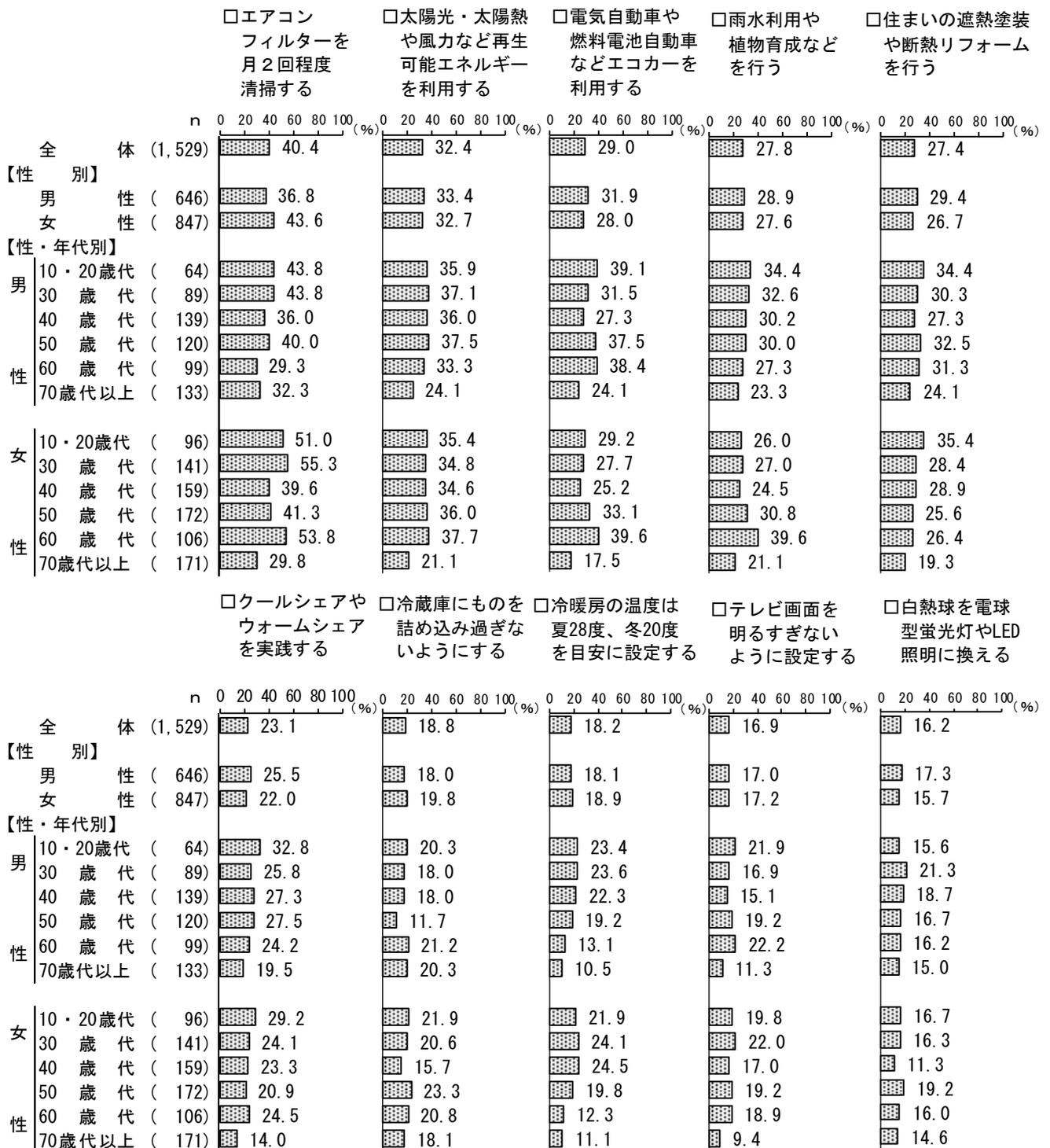
【現在取り組んでいること】（上位10項目）



【今後新たに取り組みたいと思うこと】では、性別で見ると、「エアコンフィルターを月2回程度清掃する」は女性が男性より6.8ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、「エアコンフィルターを月2回程度清掃する」は女性30歳代で5割台半ばと高くなっている。「電気自動車や燃料電池自動車などエコカーを利用する」は女性60歳代、男性10・20歳代で約4割と高くなっている。「雨水利用や植物育成などを行う」は女性60歳代で約4割と高くなっている。(図14-5-4)

図14-5-4 性別、性・年代別 地球温暖化防止に向けた家庭での取り組み
【今後新たに取り組みたいと思うこと】(上位10項目)

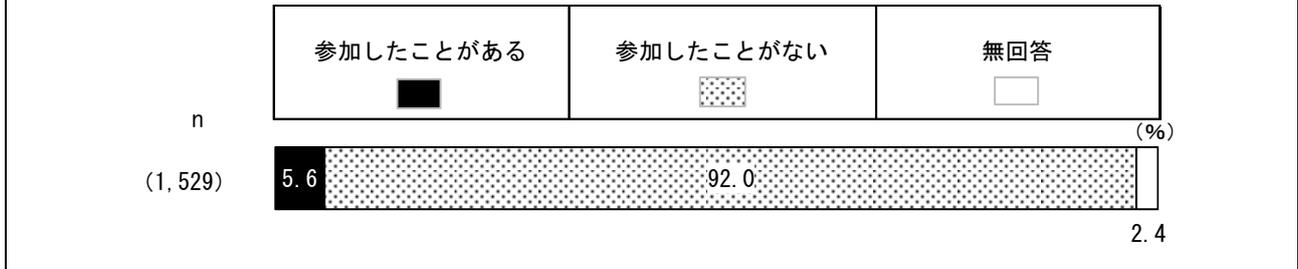


14-6 地球温暖化防止や生物を大切にするための地域活動への参加状況

- 「参加したことがない」が9割を超える

問40 あなたは、地球温暖化防止や、緑を守り育て、生物を大切にするための地域活動や講習会に参加したことがありますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

図14-6-1

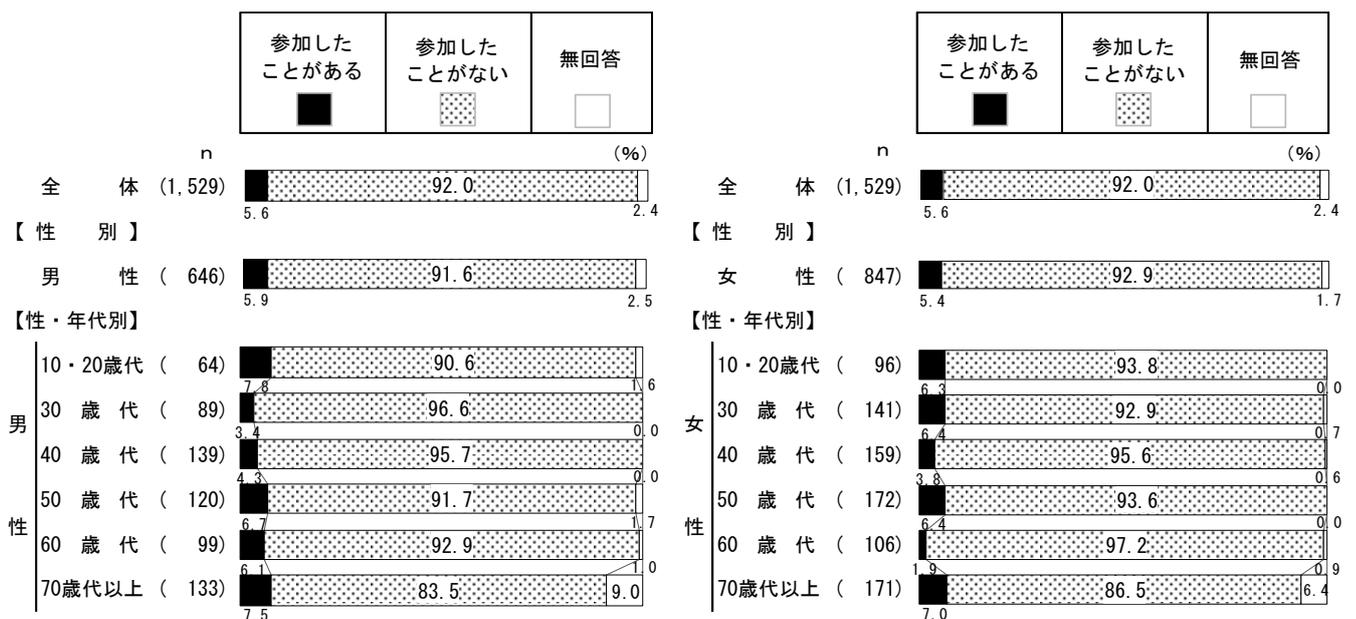


地球温暖化防止や生物を大切にするための地域活動や講習会に参加したことがあるか聞いたところ、「参加したことがある」(5.6%)は1割未満、「参加したことがない」(92.0%)は9割を超えている。(図14-6-1)

性別でみると、男女間で大きな差はみられない。

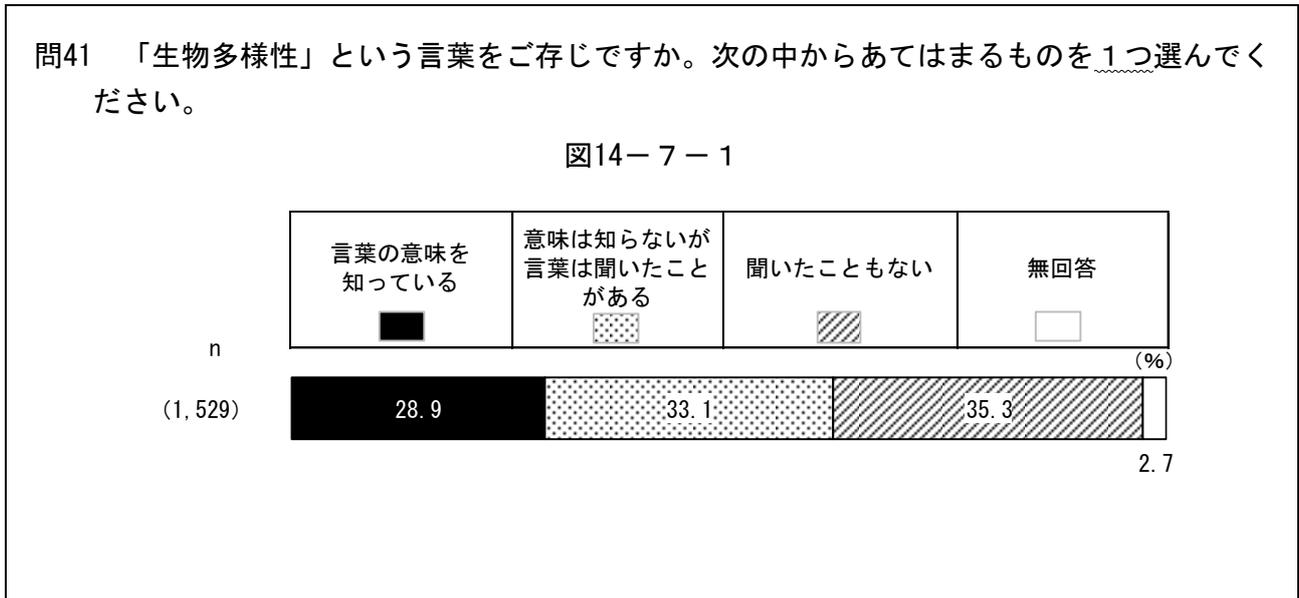
性・年代別でみると、「参加したことがない」は男女ともに60歳代以下の年代で9割台となっている。(図14-6-2)

図14-6-2 性別、性・年代別 地球温暖化防止や生物を大切にするための地域活動への参加状況



14-7 「生物多様性」の認知度

- 「聞いたこともない」が3割台半ば



「生物多様性」という言葉を知っているか聞いたところ、「言葉の意味を知っている」(28.9%)は3割近く、「意味は知らないが言葉は聞いたことがある」(33.1%)は3割を超えている。一方、「聞いたこともない」(35.3%)は3割台半ばとなっている。(図14-7-1)

性別でみると、「聞いたこともない」は女性が男性より5.7ポイント高くなっている。一方、「言葉の意味を知っている」は男性が女性より5.0ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、「言葉の意味を知っている」は男性の10・20歳代、30歳代で4割台と高くなっている。「聞いたこともない」は女性の50歳代、60歳代で4割台半ばと高くなっている。

(図14-7-2)

図14-7-2 性別、性・年代別 「生物多様性」の認知度

